

令和3年度 財務管理部長「政策宣言」中間報告

財務管理部長 一松 教進

○ 令和3年度重要事業

事業名	税財源の確保等健全な財政運営
目 標	新型コロナウイルス感染症による市税等への影響について、引き続き、その把握に努めるとともに、公平・公正な賦課徴収の実施、多様な納付環境の整備、適正な滞納処分の執行により税財源の確保に努めます。 また、普通交付税の一本算定への完全移行など一般財源の確保が困難な状況の中、中長期的な財政見通しを踏まえ、決算上剰余金を活用した基金への積立てや市債の繰上償還を行うなど、健全な財政運営に努めます。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症による市税等への影響の把握に努めるとともに、地方税法等の規定に基づき、公平・公正な賦課徴収を実施しました。 また、将来における公債費負担の軽減と持続可能な財政運営を確立するため、9月補正予算において、令和2年度決算上剰余金を活用し、約9億7千万円を減債基金へ積み立てました。
今後の対応	引き続き、公平・公正な賦課に努めるとともに、過年度の滞納処分の適正化や、現年度の未納催告の強化等、徴収率の向上に努めます。 また、未だ収束が見通せない新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい財政運営が想定される中、将来を見据え、健全財政を堅持していく取組を進めます。

事業名	防災・減災対策の推進
目 標	洪水ハザードマップや住民一人ひとりがとるべき防災行動を時系列的に整理したマイ・タイムラインを活用するなど、引き続き、防災・減災意識の高揚を図ります。 また、防災士や自主防災組織のリーダーの育成・活動支援に努めるとともに、市職員の研修や訓練の実施など、災害時における迅速な対応の確保に努めます。
進捗状況	防災・減災意識の高揚を図るため、市ホームページや市政出前講座などを通じてハザードマップやマイ・タイムラインの普及を図りました。 また、防災士や避難所開設業務に従事する市職員に対する研修を実施するなど、災害時における迅速な対応の確保に努めました。
今後の対応	引き続き、市民の防災・減災意識の高揚に努めるとともに、自主防災組織などの人材育成と活動支援を行います。

事業名	D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進
目 標	これまでのI o Tを活用した実証事業に加えて、新たなデジタル技術を活用し、市民サービスの充実と利便性の向上が図られる施策の展開について調査研究に取り組みます。 また、電子申請の拡充やR P A（ソフトウェア型ロボット）を活用した定型業務の自動化を促進するなど庁内デジタル化の推進に努めます。
進 捗 状 況	市長を本部長とする射水市D X推進本部を設置し、スピード感を持ってD Xを推し進めるため、まずは指針となる「射水市D Xビジョン」を策定しました。 また、電子申請の拡充やR P Aによる定型業務の自動化を促進するなど、業務効率化と市民の利便性の向上に努めました。
今後の対応	D Xビジョンで描く未来の姿の実現を目指し、庁内に6つのワーキンググループを設置したところであり、事業選定や令和4年度以降の実証に向け調査・研究を進めます。